

歌仙兼定は
人見知りである。

歌仙兼定は
人見知りである。

成人向

歌仙兼定×螢丸





蛍丸！

今日は
僕たちの部隊が
演練の日だよ

もう支度は
済んで
いるのかい？



あと
靴下だけ









ふいー！
手合せ！
終了！



ねーそっちの
本丸にも
加州清光
って
いるの？
可愛い？

いるよ
お前と同じ
すぐくうざい

お前も
うちの安定
うつくりに
うぜー



やっぱ
長く戦っ
てる
本丸の奴
らは
強えな

一年も
やってる
となく
そっちは
最近
でた本丸
なんだ？

ああ
こっちは
大体
一ヵ月
って
とこだな

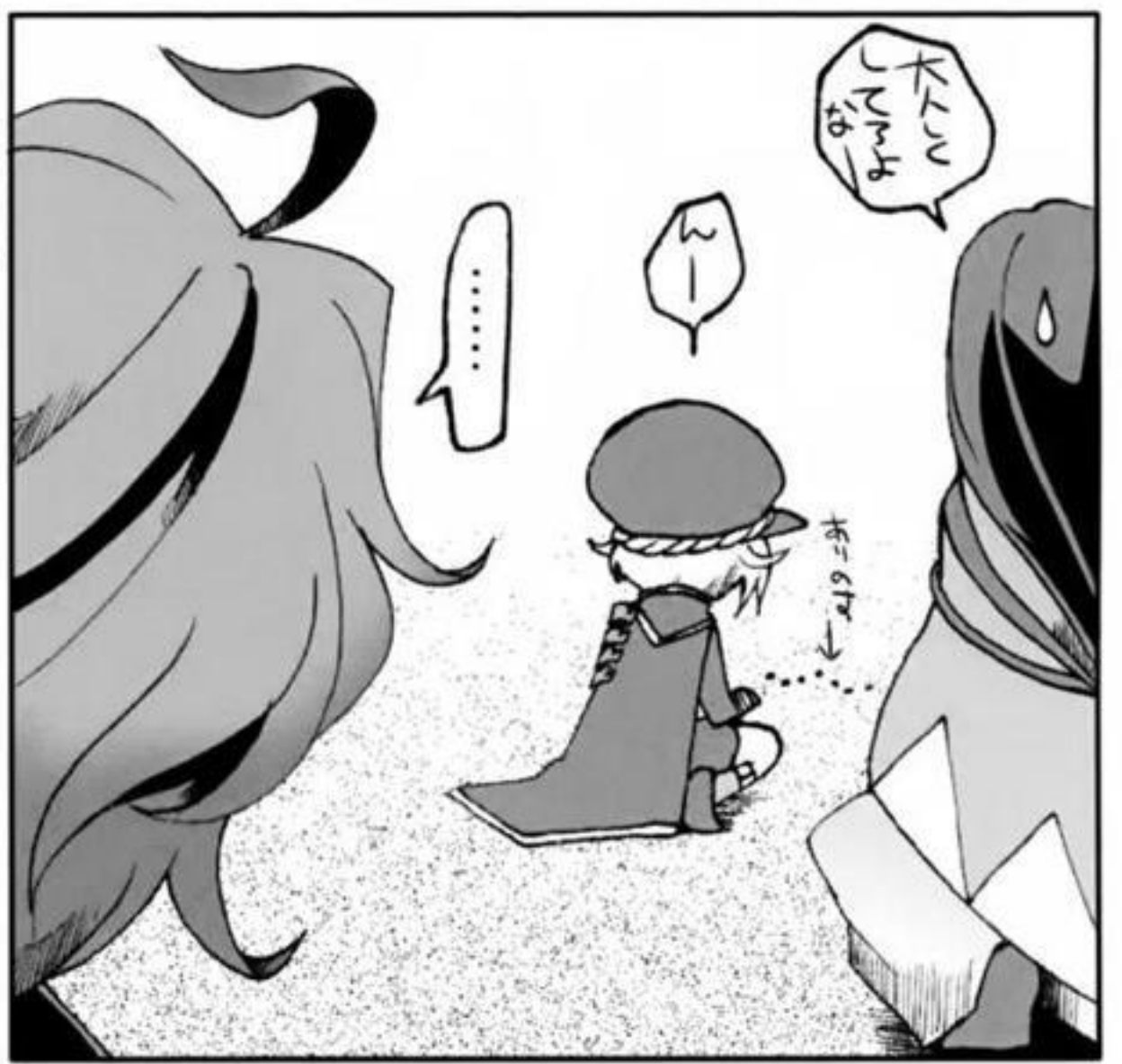


ええと…
歌仙兼定？
僕もたいど

ん？
何か用かい

ひとつだけ
聞きたいこと
があるんだが

聞きたい
こと？



木んこ
してよ

……

おん



演練に短刀を
連れて来るとは
見くびられた
ものだと
思ったが…

見た目に反して
恐ろしく強かった
あの子供は一体
何者なんだ？

蛍丸かい？
あの子は
短刀ではないよ
ああ見えて
大太刀さ



恋仲
だからねえ



大太刀…！
あれがか！

他の大太刀は
皆大きいの
だけどねえ



それに
会った時から
気になった
のだけど

随分と
君に懐いて
いるようだ

わかるかい？







螢丸!?



螢丸
随分静かだけど
疲れているの
かい...?

いない。



それで
連れて帰って
来ちゃったのか

だって
放っておくわけにも
いかないだろ!

大太刀か:
まだこの本丸には
いない刀だな

主?



はーん

あーいや
何でもない
それよりい

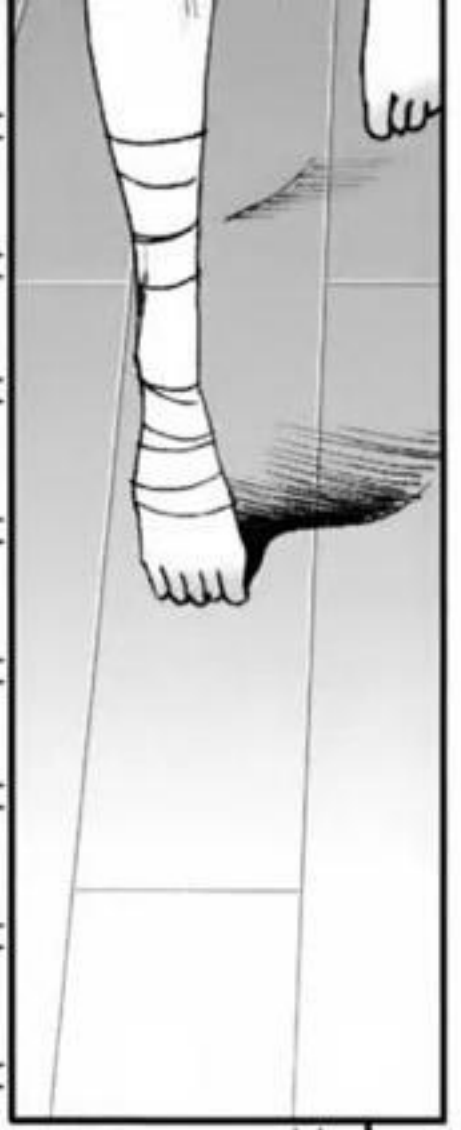
向こうの歌仙と
こっちの歌仙を
間違えて
付いてきたん
だって?

らしいよ

だったら
対処を考える間
歌仙に相手を
させておけ

わかった





はま〜

…客人の相手は
どうしたんですか
歌仙…

ああ…
お小夜か

向こうの歌仙は
あの大太刀と
恋仲であつたと

確かにそう
言っていたね
信じられないが

戦っている姿は
美しかったのは
事実だよ

…歌仙兼定…が
惚れ惚れするのは
よくわかるさ

だがね…

今の振る舞いは
完全にただの
子供でしか
なかったよ！

落ち着きはないし
とてもじゃないけど
僕の話
理解しように
ないし…

風流を理解しない
幼子を歌仙兼定が
見初めるって？
考えられないだろう？
お小夜！



歌仙の話はとも
子供でなくとも
大抵の者が理解
できないと
思いますけど

そういうこと
じゃなくて！

お小夜のような
子供ならまだしも
ああいう子供は
苦手なんだ！

僕の話は
理解できない
大人しくしない
勝手に動く！

はいはい
わかったから

螢丸：
だっけ…？

あっ
小夜だ

僕のこと
知ってるの…？
君の本丸にも
いるのかな…？

うんいるよ！
小夜左文字！
歌仙の
おともだち
だよね？

まあ…
そんな感じ

来派の刀と
聞いているけど

うん

この本丸には
まだ来派の刀は
ついてないんだ

どう聞いていいの？
刀が歌仙を好きに
なつたのかな…？

ちよ：
お小夜？

どうして？
うーん…

そんなこと
子供に聞いたって
わかりは
しないよ…！

いいところ？
すい

お菓子より
甘い
花のにおい

俺がもう
ずっと昔に
忘れちゃった
におい……

そう言ったら
歌仙は
何のお花か
何回でも答えて
くれるんだ

それが
春も夏も秋も冬も
ぜんぶちがって

歌仙は毎日でも
楽しそうに
俺に話してくれるの

俺にはむずかしい
話もたくさんあるけど
楽しそうな歌仙の
声が好き！

たまに
むずかしくて
聞きながら
寝ちゃうけど……

……だそうです

それを聞いて
どうしろって
言うんだ

……？

まんざらでも
ないって顔
してたけどね……



国俊は歌仙はん責めても仕方ないやろ

おい歌仙
蛭が行方不明って
どういことだよ！

オレと一緒
来派といない時は
お前が面倒見るって
約束しただろ！



それでは……
主はんは……
なんて？

恐らく最後の
演練相手の歌仙に
間違えて付いて
行ったのだろうと

相手の本丸に
連絡を取ろうと
試みているが
応答がないらしい

なんでだよ！
こうしてる間にも
蛭に何かあったら……

今夜
乗り込みましょう！
俺行きますよ！

そう
簡単じゃ
ないんだ



演練以外で
他の本丸へ無断で
接触することは
できない

主が政府に
許可を求めている
その返事が
来るまでは……

そんな……

今はただ
無事を祈って
待つことしか
できない……

歌仙！
主が
話あるってさ

わかった
すぐ行く

おお歌仙
悪いな

迷子の
相手をさせて
悪いな

どうだ？
仲良く
やってるか？

やれてるわけ
ないだろう！

え？
そうなの？
まあいいや

お前さ
あの太刀
寝取れない？

いくら主でも
冗談で言っても
良いことと
悪いことが：

は？

本気だよ
ぶっちゃけさ
あれだけの戦力
ウチにはまだし
ないわけだし

相手は子供だしさ
上手く丸め込んで
ウチの刀にしちまおう

向こうの歌仙と
恋仲なんだろう？
お前も同じ歌仙だし
わかんないって









僕だって
君のような子供
好きではない

そうかい
奇遇だね

歌仙兼定の好みとは
かけ離れている！
君の本丸の歌仙は
欠陥品か何かには
違いがないよ！



やだ

ちよっ...

はた...
はた...
はた...

やめて
はなして



...そんなの
うそ！



やだ... ばあああ



嘘ではないよ
だけど僕は主命に命じられて
いるからね

悪いけど
しばらく
付き合っ
てもらおう



突然の
訪問で悪いが
政府の許可は
得ているのでね

うちの蜷丸を
迎えに来た

あの刀なら
さっき外へ
逃げて行っ
たよ

な……
なんだって？

歌仙……
どうする？

皆で
手分けして
探そう

君は知らない
だろうけど……
大太刀は夜目が
効かないんだ！

わざわざ
探しに行く
つもりか？

放っておいても
そのうち
帰腹を空かせて
帰ってくるだろう

……もう日が
落ちてかけて
いる

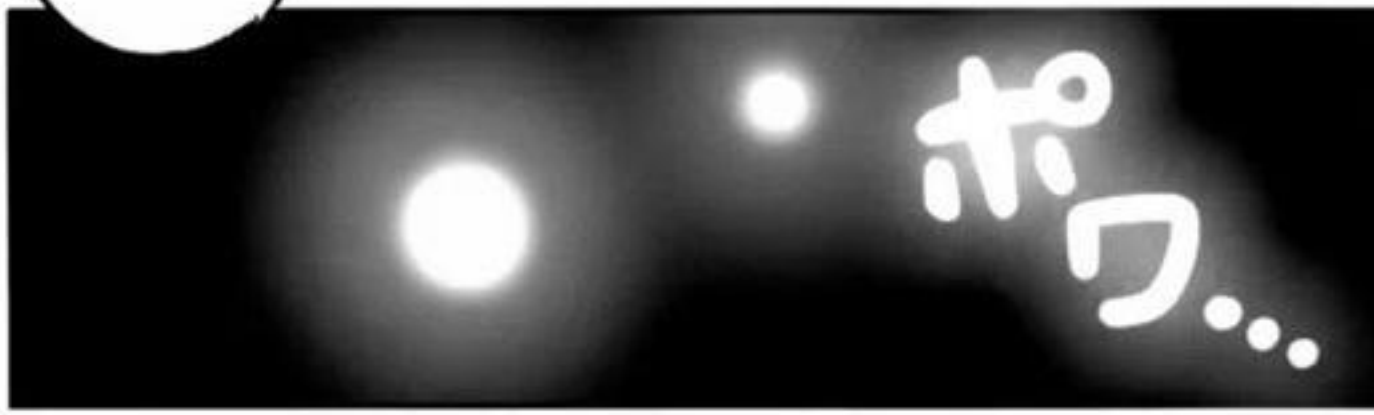
……



なんだい
かいてくるの

彼が
出て行ったのは
僕にも原因が
あるからね

へえ？
蛍丸に何を
したんだい



これは…



この場で首を
落とされかねない
ようなことを
したからねえ
説明は遠慮させて
いただくよ

そうかい
それなら蛍丸を
みつけたあと
本人に聞いてみる
ことにするよ

蛍だ…！



という
ことは

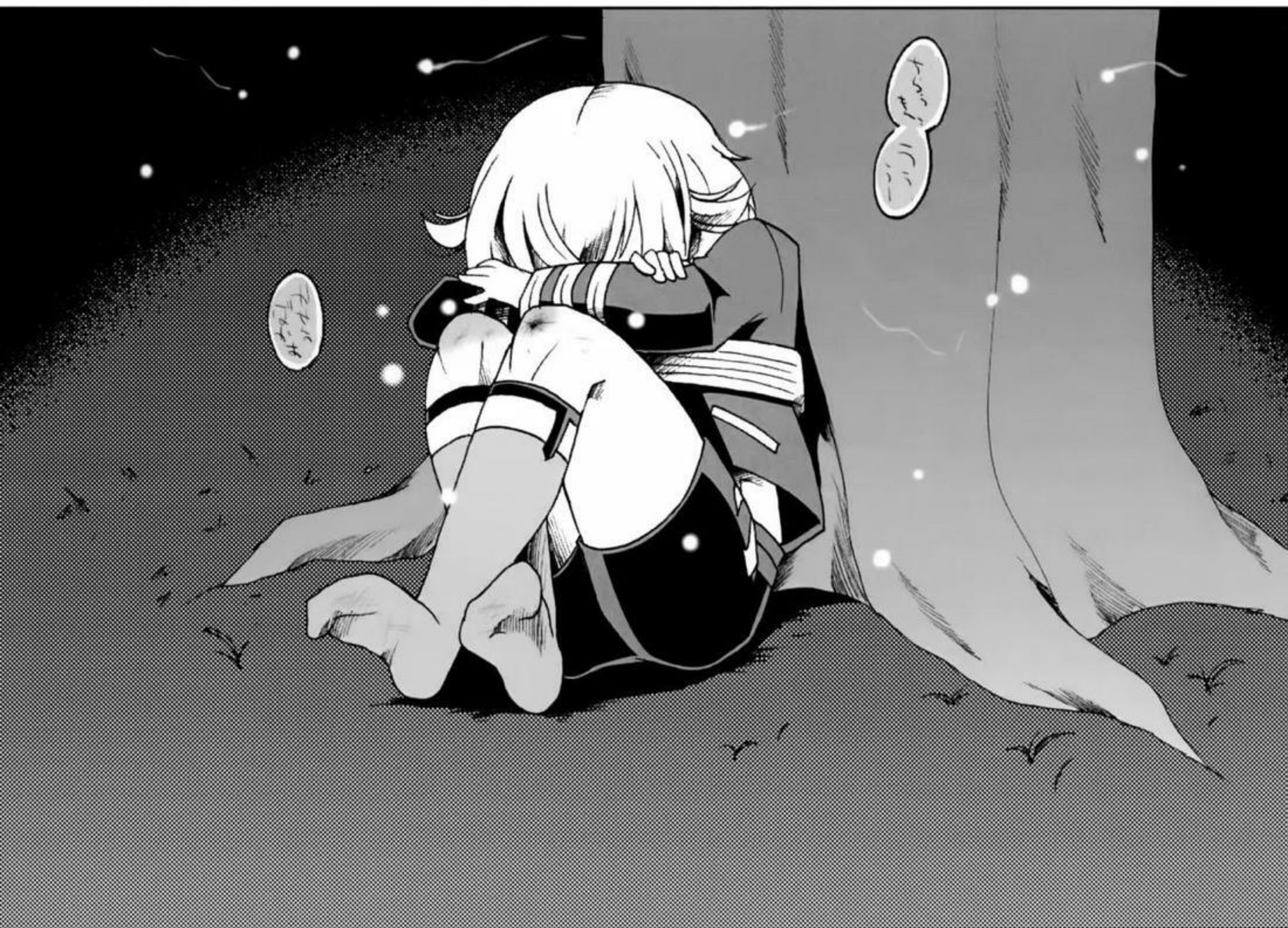
恐らく
蛍丸はく
だ

…？
何故？



虫丸は傷を負うと
虫が集まって
それを治癒するんだ

きつと
迷っているうちに
転びでも
したんだろう



幼い姿からはい
想像もできない
美しいだろう？

僕があの子に
惚れこんでいる
理由のひとつだ

他にもたくさん
あの子の
良いところを
知っている



君はあの子を
僕があの子を
好いてる理由が
わかっていない
顔をしていない
ね

わかるはずもない
君の近くには
蛍丸がないから

君はまだ
顕現して日が浅いから
知らないだけだ

他者との関わりで
自分の性質が
変化することを



そして
その揺らぎが
人の身を得て最大の
喜びであることを



蛍丸！

迎えに
来たよ

歌仙……？



……



他人の刀剣男士を
奪おうとした
あの本丸には厳しい
処分が下るはず

最悪で取り潰し……
主を失った
刀剣の末路なんて
想像に難くない

ならば同じ
刀剣男士として
情けくらいは
かけてやるさ



黙って帰ってきて
良かったんですか？
蛍丸に酷いこと
してたのに！

いいんだよ



んん…

おや
起こして
しまったかな

おうち
帰ってきた？

ああ
僕らの
本丸だよ

…ねえ歌仙
ひとつ
聞いてもいい？

うん？

初めて
会ったとき
俺のことどう
思ってた？

あっちの
歌仙兼定に
何か言われた
のかい？

…

…そうだね
きっと彼はね
こう言ったん
だろう

君のような
子供は
苦手であると

やっほー！

けどね



んん
むずかしい

ははっ
そうか…



この歌仙兼定は
蛍丸のことを
愛している

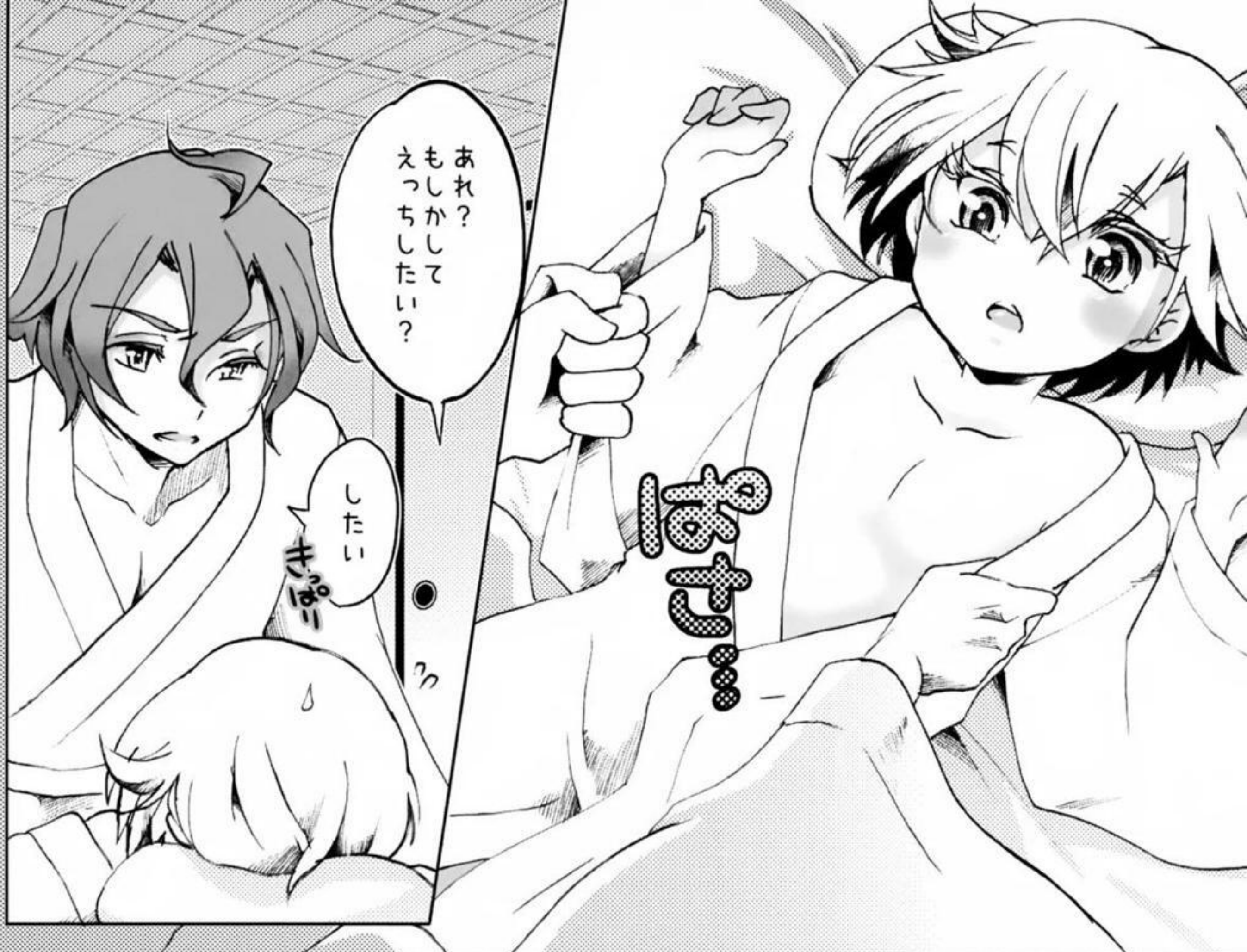
それだけでは
いけないかな…



人の身を得て
経験を重ねるのが
僕たちだ

生まれ持った
性質…
人では言え、性格と
言うものが
あったとしても

感性や好みは
生まれた後の経験を経て
理解を深め
変化していく



歌仙兼定の
付喪神は
たくさんいて

この本丸の歌仙を
定義している
要素の一つが
この一振りだったら



これを失ったら
僕は僕でなくなっ
てしまふのだからか



あは…
よかったあ

じょうずに
できなかつたら
どうしようって
思ってたんだあ

うん？

3Pは

じつは
あっちの歌仙に
えっちなこと
されてる…

なっ…

誘拐未遂に
留まらずに
手籠めにする気
だったのか…

やはり
殺しておく
べきだったな

でも俺は向こうの
歌仙とやるのは
なんかやだっの

歌仙は歌仙
なんだから
同じだろうって

だから俺
もしかしてもう
歌仙のこと好きじゃ
なくなっちゃった
のかなあって…

だから
こっちの歌仙とも
したくなかつたら
どうしようって
考えちゃって
それで…

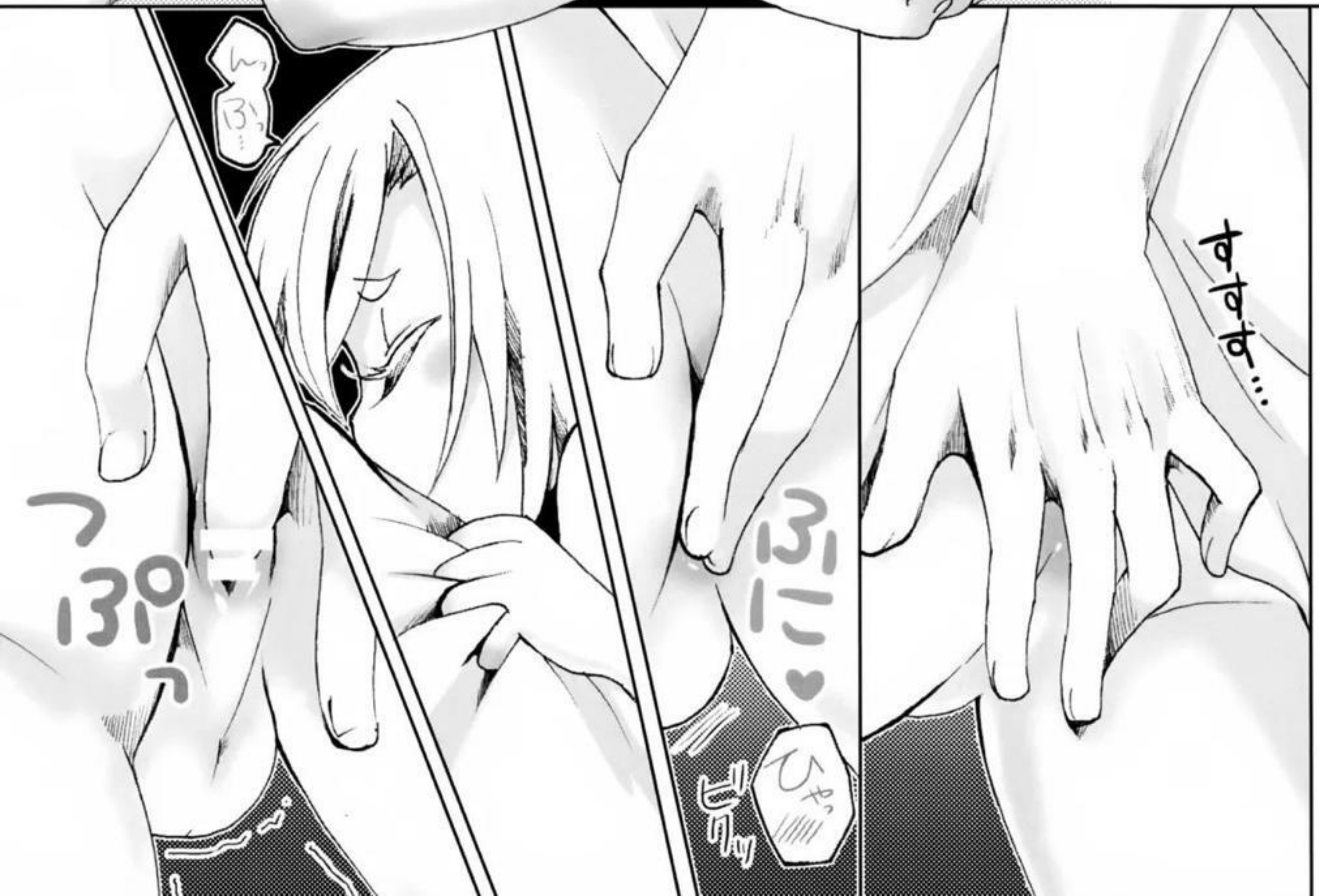
はっはっはっは



…逆だよ

とても
僕のことが
好きなのさ

!



すずすず...

にゅにゅ

ひゅ

にゅにゅ



良かった！
いつも通りの
感覚だ

この様子だと
指一本
挿れさせて
いないようだね



えっちなこと
される前に
障子の外に
投げ飛ばしたの

君は本当に
僕に対して
容赦がないねえ

まあ、いろいろと
好きだからねえ



やっぱり
同じ歌仙兼定でも
違う歌仙と
えっちされるのは
いや？

当然だよ

そんなこと
想像するだけで
気が狂いそうだ

ハッ！

31
んあ

ヌ
プ
プ
プ
プ
プ

ヌ
ヌ
ヌ

ヌ

あ

キュウ
キュウ
キュウ





歌仙兼定は人見知りである。
発行者 石落らいし
(ろしあけーき)

発行日 2016 年 8 月 13 日
印刷 POPLS

連絡先

URL <http://raishi.e-cat.to/>
e-mail diethyl_ether@raishi.e-cat.to

▼実は打刀で一番見た目が好みなのは安定だったりしますのでとても楽しい原稿でした。
けど途中めっちゃキャラ数多いページありすぎてつらかったです。
▼わざわざ夜戦部隊組ませたのはごこちゃん極にしたよあっぴーるです。



※本誌はファン活動として非公式に制作された物です。
各企業様等とは一切関係ありません。
本誌に関するお問い合わせは、E-mail もしくは
ホームページへお願いいたします。
本誌の内容の WEB を含む無断転載、オークション等での
転売行為は固くお断りいたします。

2016年8月13日
ろしあけ一き